

会員の皆様へ.

大変遅くなるりましたが、2000年度年会の簡単な報告を致します。「I. 講演」に関しましては、本来、講演要旨を掲示する予定でしたが、皆様多忙でできませんでしたので、題目のみでお許し下さい。「II. 今後の運営と会則の改正点」の内容にご意見のある方は10月31日までに、ご発言下さい。その上、新しい会則をまとめたいと思います。現在、会員は22名です。本年度年会は、連絡・設営が悪く小人数となってしまいましたことは主催者の責任です。申し訳ありませんでした。ただし、最近、ある学術会議のI.M.に出席したところそこも参加者は少数で、主催者は淡々と「参加者が0になったら集会をやめればいいんだ。」と言っていたのに、妙に勇気づけられました。

2000年9月末

徳永 旻

第2回 ISSE 年会報告

日時： 2000年 8月 17~18日

場所： 長野県木曾駒高原 木曾教育文化センター

参加者： 馬場 浩太, 高木 信行, 徳永 旻, 山本 正樹 (ABC順)

I. 講演

- (1)山本さんの話：「コミュニティ OS による人材育成」
- (2)徳永の話：「Flow & Network 教材中の記号について」
- (3)馬場さんの話：「エントロピーと環境」
- (4)高木さんの話：「山の形の測り方について」

II. 今後の運営と会則の改正点

(1) 教育の問題は横断的関連性が極めて深い。従来の理数系教育の枠をとり払い、もっと幅広い分野の人々に参加を呼びかけ、より広い視野での教育観を創造して行ったらどうか。

● 関連する会則の改正点

従って、第一条(名称) ISSE についての括弧内の説明的文言 (Institute for Systematic Science Education 体系的科学教育のための学会) はとりはずし、ISSE を一種のブランド名として取り扱う。

第二条(目的) 「科学教育」の「科学」もはずす必要がある。

(2) Flow & Network シリーズのテキスト作成について著者名を「ISSE テキスト編集部」とし、多くの人の編集参加、さらなる討論によってより完成度の高いものとする。

● ISSE 物理学 III. 物質の構造は、量子論の学習未修を考慮して、I, II とかなり形式を変えたプレゼンテーション（録画等）の可能性も考えてみる。

● ISSE 数学については、新たな編集主任をもうけテキスト作りを促進したらどうか。

(3) インターネットを主とする学会運営を円滑にするためには、この集会のような年会等のイベントを重視する必要がある。

● そのような企画のためにも事務局と H.P.編集局はもっと緊密に連絡をとるべきである。

● 関連する会則の改正点

第四条（住所）住所を

「東京都練馬区桜台 3 丁目 3 番地 15」

と変更。

III. 会計報告

収入：	1999 年度会費収入	20 名	・・・	48,000 円
	カンパ		・・・	10,200 円
	2000 年度会費収入	1 名	・・・	2,400 円
	通帳解約利息		・・・	14 円
	収入合計		・・・	60,614 円
支出：	1999 年度通信費		・・・	4,000 円
	2000 年 8 月までの通信費		・・・	440 円
	支出合計		・・・	4,440 円
残高：	2000 年 8 月 17 日集計		・・・	56,174 円

★★ 口座変更のお知らせ ★★

郵便局 記号 10000 番号 68074171

〒176-0002 東京都練馬区桜台 3-3-15 ISSE 事務局